

部品交換要領書

玄関ドア用 シリンダーユニット

HHW12-010
2016年3月発行

YKK
AP

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
同梱の取付ねじを最後までしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう養生などを行って作業をしてください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。

同梱されているもの

シリンダーユニット	交換要領書
・HH-4K-14524A(B・C) ・HH-4K-14525A(B・C)  シリンダー：2個 子鍵：5本	 本書 1枚

※取付ねじは同梱されていません。
現在取り付いている取付ねじを使用してください。

作業のために準備していただくもの

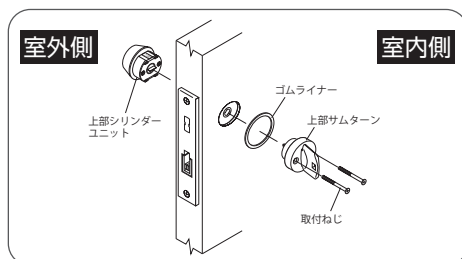
プラスドライバー	マイナスドライバー
 ⊕ 1本	 ⊖ 1本

部品の取りはずし方

お願い

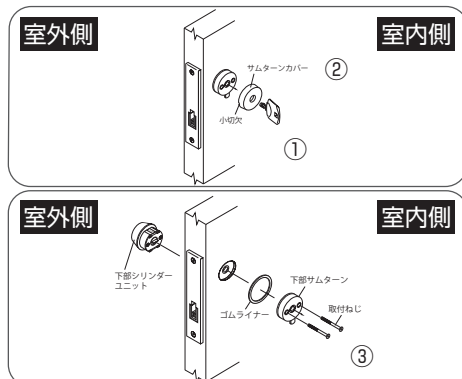
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 上部サムターン(通常サムターン)とシリンダーの取りはずし



- ①サムターン側からプラスドライバーで取付ねじをはずし、上部シリンダーを取りはずす。
※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれますので、落下にご注意ください。
※サムターンには上下がありますので、はずした際上部に印をつけてください。
※取りはずしたねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 下部サムターン(脱着サムターン)とシリンダーの取りはずし



- ①サムターンツマミをはずす。
- ②サムターンカバーの小切欠きにマイナスドライバー等を差し込み、サムターンカバーを少し浮かせてはずす。
※マイナスドライバー等を差し込む際、ドアにキズが付かないようにご注意ください。
- ③サムターン側からプラスドライバーで取付ねじをはずし、下部シリンダーを取りはずす。
※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれますので、落下にご注意ください。
※取りはずしたねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。 ※部品の取り付け方は裏面をご覧ください。

部品交換要領書

玄関ドア用 シリンダーユニット

HHW12-010
2016年3月発行

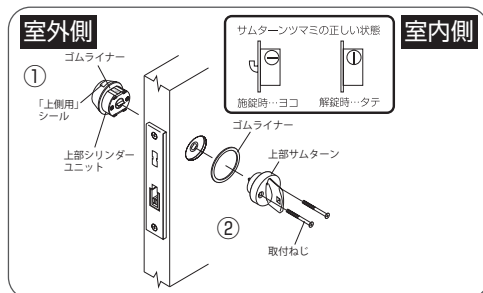


部品の取り付け方

お願い

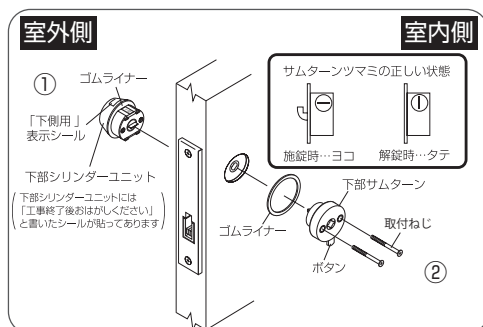
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 上部サムターン(通常サムターン)とシリンダーの取り付け

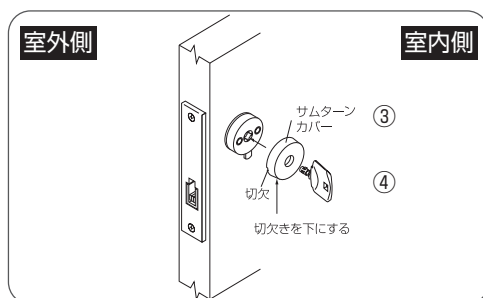


- ① 上部シリンダーを『上側用』シールを上側にしてセットする。
 - ② はずしていたサムターンの上下を確認してからサムターン側より取付ねじを差し込みプラスドライバーでしめる。
- ※取付ねじを強くしめすぎると、施解錠が固くなる場合がありますのでご注意ください。

2 下部サムターン(脱着サムターン)とシリンダーの取り付け



- ① 下部シリンダーを『下側用』シールを上側にして取り付ける。
 - ② はずしていたサムターンの上下を確認してからサムターン側より取付ねじを差し込みプラスドライバーでしめる。
- ※取付ねじを強くしめすぎると、施解錠が固くなる場合がありますのでご注意ください。
- ③ サムターンカバーをはめ込む。
 - ④ サムターンツマミを差し込む。
- ※サムターンツマミは、ボタンを押さなくても差し込むことができます。
※サムターンツマミは、施解錠方向に注意して差し込んでください。逆方向では差し込みできません。



部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじのしめつけをゆるめたりして調整してください。

※部品の取りはずし方は1ページ目をご覧ください。